

事業名 事業主体及び提案者	1 子育て家庭サポート事業 特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブチャイルドケア 永井圭子																
事業内容 (詳細は別添資料 企画書概要、再提案概要のとおり)	「どうい問題を解決しようとしているか」 保育園や児童ホームの預かり時間が実態にマッチしていない。子育て中の親の精神的、肉体的負担を軽減するためには実際の手助けが必要。 行政が行うと費用がかかりすぎ無駄も多い。個人的に解決するのは困難。だから、子どもの預り、送迎、新生児の沐浴、産後の家事援助などを行う。																
協働の内容	「具体的な協働の項目」 1. 行政がチャイルドケアを紹介している実態を協働事業と位置付ける。 この部分の費用負担は求めない。 2. チャイルドケアで行っている事業の内、行政がすでに行っている不十分な部分(保育園、児童ホーム終了後の預かり、一時保育など)を協働事業とする。 行政も応分の負担(費用・人材育成)をしてほしい。 負担の具体的な中身については、今後話し合いたい。																
審査内容(評価結果)	<table border="1" data-bbox="491 1021 1350 1234"> <thead> <tr> <th></th> <th>実現性が高い</th> <th>熟度を高める必要がある</th> <th>実現することが難しい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提案者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政所管課</td> <td>児童育成課</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当推進委員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		実現性が高い	熟度を高める必要がある	実現することが難しい	提案者				行政所管課	児童育成課			担当推進委員			
	実現性が高い	熟度を高める必要がある	実現することが難しい														
提案者																	
行政所管課	児童育成課																
担当推進委員																	
コメント(公開審査時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政負担の範囲を固め予算要求を! ・ 現在ファミリーサポート事業をがんばってやってもらっていると認識している。活動を支援していきたいと思う。(行政) 																
公開審査後の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な内容の調整について提案者が行政に提案したが、パイロット事業の考え方を行政内部で整理してから行う事になっている。 																
協働推進会議の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政所管課及び提案者ともに協働事業として進めるという考えについては一致していることから、協働事業の内容について、今後行政の内部調整が付き次第協働事業として進めていただきたい。 																
具体的に検討を要請する事項	上記の意見を踏まえて、協働事業として実現に取り組んでいただきたい。そのため、次の点について検討いただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働事業とする具体的な内容と役割分担 ・ 今後の進め方(実施時期) 																